

時計台前から

私たちは世界とあなたを結ぶ
パートナーです。

公益財団法人札幌国際プラザは、国際都市さっぽろの
更なる発展を目指して地域の特性を活かした
交流をすすめています。

異なる言語・文化を尊重しあい、共に生きるまちづくりや、
MICEの振興、人材の育成を行っています。

ビジョン

わたしたちは、みんなにやさしく魅力と
活力あふれる国際都市札幌を創造します。

ミッション

- I 様々な人、文化、情報が集まり、繋がり、広がる拠点となります。
- II 市民主体の多文化交流をプロデュースします。
- III MICEを通じた人々の交流と地域経済の活性化を推進します。



PLAZA PICK UP NEWS



PICK UP

01 ミュンヘン市との姉妹都市提携50周年！

★★

ドイツ・ミュンヘン市と姉妹都市提携50周年を迎えた2022年は、コロナ禍の影響を受けつつも、様々な記念事業を行いました。

7月には職員をミュンヘンに派遣し、交流事業や現地の多文化共生の取組の視察を行いました。9月にミュンヘン等からの青年訪問団が札幌を訪れ、**若者同士のワークショップを実施**。10月にミュンヘンから金銀細工マイスターが来札し、展示会やセミナーなども開催しました。

また2023年6月には、**ミュンヘン市長団を迎えて、札幌市との共催により記念式典なども開催**しました。



さっぽろ日独青年交流プログラム～環境とアートのまちづくり～
モエレ沼公園でのフィールドワーク

PICK UP

02 「外国につながる子ども」の支援の拡張

★★

「外国につながる子ども」とは、外国籍のみならず、両親のどちらかが海外出身や、外国で生まれ育った日本国籍の子どもなども含めた文化的、言語的に多様な背景を持つ子どものことをいい、その数は増加傾向にあります。

国際プラザでは、2022年度も、このような子どもたちを支援する事業を実施しました。



小学校入学ガイダンスの様子

NEW

●外国につながる親子のための 小学校入学ガイダンス

(10月29日(土))

5か国9組

21人参加



●外国につながる子どものための 夏・冬休み学習支援

(夏休み3日間-
8月16日(火)～18日(木))

延べ人数 29人参加
7か国



(冬休み3日間-
1月11日(水)～13日(金))

延べ人数 33人参加
7か国

NEW

●外国につながる 親子DAY

(7月2日(土))

7組

17人参加



●子育て支援事業 母子保健セミナー

(10月2日(日))

2か国 7人参加



子育てミートアップ

(11月11日(金)、24日(木))

7か国 38人参加

(日本人参加者含む)

※外国人参加者:6か国15人、日本人参加者:23人

PICK UP
03
★ ★

札幌留学生交流センター事業 留学生文化紹介セミナー@中央図書館



3年ぶりの開催となった2022年度は、センターに住む台湾とカナダの留学生2人が「飲食から台湾文化を紹介します」、「カナダの伝説の物語」というテーマで発表。参加した市民と歴史や文化などの質疑を通じ、熱心に交流しました。

また中央図書館では、セミナーの前後1か月間、台湾とカナダに関する図書の展示を行いました。

PICK UP
04
★ ★

MICE誘致のための海外出展を再開

MICE専門見本市は、海外の旅行会社やプランナーと直接商談し、札幌の魅力を伝えることができる貴重な機会です。2022年度は2年8か月ぶりに海外見本市に現地出展しました。

10月にシンガポールで開催されたITB Asia 2022では、日本への入国規制緩和直後の時期であったこともあり、東南アジアを中心とする多くのバイヤーと本格的な商談、情報交換を行うことができました。

MICE: 企業等の会議 (Meeting)、報奨旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) 等のビジネスイベントの総称



ITB Asia 2022出展の様子

PICK UP
05
★ ★

地域連携におけるMICE誘致力強化



ビジネスミーティングなどで海外から東京を訪れた人が、札幌にも足を伸ばしてもらえよう、DMO 芝東京ベイと連携し、モデルコースづくりを検討しました。芝東京ベイ (浜松町、竹芝、芝浦) エリアの魅力と相乗効果を発揮するため、札幌での特別感のある体験や、サステナブルな取組など、視察受入を通して新たな魅力発掘に取り組みました。



2022年度実績

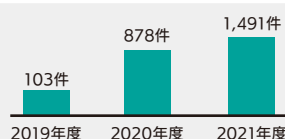
札幌国際プラザの活動紹介

01 外国人の生活を 支えるために

日本に住む外国人はますます増え、札幌市においても約1万6千人となりました。外国人が暮らしの中で直面する「言葉の壁」、「制度の壁」、「こころの壁」を解消するため、札幌国際プラザは様々な事業を実施しました。

●さっぽろ外国人相談窓口 2022年度相談対応件数

1,825件



年々増加傾向にあり

●さっぽろコミュニティ通訳

派遣件数 登録者数 言語数

137件 35人 13か国語

札幌市に住む 外国人 15,960人↑
(2023年4月1日現在)

国籍別 (多い順に5か国)

	中国	4,793人
	韓国	2,410人
	ベトナム	1,821人
	米国	710人
	ミャンマー	646人

参考: データ元 統計さっぽろ (4月号)

●外国人のための 無料オンライン セミナー

3回 38人参加

テーマ: 交通事故 (6月25日(土))、起業 (12月10日(土))、
確定申告 (2月18日(土))

●外国人のための 無料専門家相談会 (弁護士、行政書士/社労士、税理士)

隔月 6回 86人参加

●札幌の生活オリエンテーション

春と秋 全 4回 14か国 31人参加



●はじめての にほんごくらす

春と秋 2コース 23か国 40人参加



02

異文化理解イベントを久しぶりに対面開催！

■子ども向けイベント「世界の夏」

札幌在住の外国人が各国の夏の遊びや過ごし方を紹介し、小学1～3年生がそれを体験しました。
(8月7日(日))



「世界の夏」

■第43回韓国を知るセミナー

「チェエ(推し)しか勝たん！

K-POPアイドル&ファンの文化」

ヤン・スーミン国際交流員がK-POP文化の由来や歴史について楽しく語りました。
(1月14日(土))



韓国を知るセミナー

■カザフスタンを知るセミナー

「意外と知らない！世界で9番目に大きい国」

カザフスタン出身のゲスト講師と会場をオンラインでつなぎ、伝統衣装、食文化などを動画を交え紹介しました。(3月26日(日))



カザフスタンを知るセミナー

03

市民ボランティアによる 様々な活動

国際プラザは、多文化共生の実現や国際交流、MICE推進において、市民による様々なボランティア活動に支えられ、またその活動を応援しています。



子育てミートアップでの
外国語ボランティアによる読み聞かせ

札幌国際プラザの ボランティア組織

- ・外国語ボランティア
- ・ホームステイボランティア
- ・日本文化体験ボランティア
- ・さっぽろコミュニティ通訳
- ・さっぽろ外国人市民パートナー
- ・札幌災害外国人支援チームSAFE
- ・フローラルアートグループ

04

外国人住民によるまちづくり

■さっぽろ外国人市民パートナー

自らの能力や経験、文化的背景を活かし、札幌のまちづくりに協力してくれる外国人住民のボランティアです。国際プラザ主催の生活オリエンテーションなど、6事業に13人が参加しました。

登録者

15か国
32人



札幌の生活オリエンテーションで冬の生活をレクチャー

■札幌災害外国人支援チームSAFE

災害時に、国際プラザに設置される災害多言語支援センターと協力し、外国人の支援にあたるチームです。2022年度は札幌イスラミックインターナショナルスクールの子どもたちへの防災啓発にも協力しました。

メンバー認定

19か国
43人
21言語
対応



札幌イスラミックインターナショナルスクールの子どもたちと防災センターへ

2022年度実績 札幌国際プラザの活動紹介

05
★★

国際社会・多文化共生社会の未来を担う 人材を育成

市内の小・中・高校生が、海外諸国への関心を持ち、異文化を理解するきっかけとなるよう、学校での「総合的な学習の時間」において国際交流員による授業を行いました。

学校訪問
24件

うち
オンライン
開催など
2件



イベント例

●SAPOROこども未来トーク

市内の小学校6年生11人が、キルギス、ポーランド、イタリア出身の3人の外国人住民との意見交換を通して多文化共生の視点から札幌のまちのあり方を考え、その成果をオンラインで報告しました。
(1月13日(金)～15日(日))



※事業の様子を動画でご覧いただけます。



06
★★

国際プラザのYouTubeとInstagramでは、国際交流員による各国の文化紹介や札幌での体験など様々な内容を発信しています。



YouTubeチャンネル
登録者数

464人

(2023年5月末時点)



Instagram
フォロワー数

247人

(2023年5月末時点)



札幌市国際交流員と一緒に



外国について学ぼう！



07
★★

留学生交流センターの管理・運営

留学生交流センターは、留学生用の宿舎で、札幌市から委託を受け、国際プラザが管理・運営しています。3階から11階までが留学生の居住階で、単身80室、世帯20室の計100室。留学生の生活サポート役を務めるRA(レジデント・アシスタント)として、日本人学生が4人住んでいます。1階には一般の方もご利用いただける交流ラウンジがあるほか、軽スポーツ室と会議室の貸出しも行っています。

事務室では国際プラザの職員が、入居者の相談対応や、子どもたちが小学校・幼稚園に通うための支援、交流事業の実施など様々な業務を行っています。2022年度は870件の相談に対応しました。

入居世帯数

86世帯



入居人数

109人

子どもの数

9人

入居者の
出身国・地域数

25か国・
地域

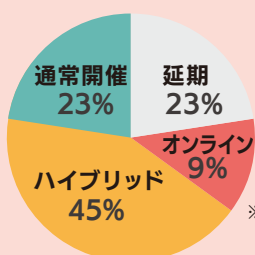
(2023年3月末現在)

08

MICEの誘致を進めています

国際会議の誘致では、会場の提案や誘致提案書の作成等の支援を行っており、2022年度には、第24回世界神経放射線学連盟シンポジウム(2030年2千人)、第62回東洋・東南アジア ライオンズ・フォーラム(2025年1万2千人)等の札幌開催が決定しました。

また、日本への入国制限緩和後、さっそく東アジア・東南アジアから多くのインセンティブツアーを札幌にお迎えしています。冬の札幌を訪れることを楽しみにしていた方々が多いようです。コンベンションビューローでは、札幌らしいおもてなしとして、YOSAKOIソーランの演舞などを提供しています。



※ICCA国際会議統計より

国際会議開催状況 (2022年)

半数以上がオンライン開催となった2021年と比べ、2022年は現地での参加が増え、ハイブリッド形式や通常どおりの対面形式が多くを占めました。

MICE専門見本市・
セミナーに参加

9回
(2022年度)

海外旅行会社等との商談数

19か国 175件

うち121件対面
54件バーチャル(2022年度)

インセンティブ支援実績

8か国・地域
29件 2,339人
(2022年度)

09

ビジネスイベントにおける 札幌のサステナビリティへの取り組み

国際プラザ・コンベンションビューローが都市のサステナビリティの国際的指標GDS-Index(Global Destination Sustainability Index)に加盟して7年目となります。2022年の札幌の総合達成度は59%となりました。環境、社会、地元企業・団体や会議施設・ホテル、コンベンションビューローの4カテゴリーすべてにおいて向上が見られ、2023年の目標値としていた55%を早期に達成することができました。

都市のサステナビリティの
国際的指標
(GDS-Index)
達成度

59%

10

多文化共生・MICE誘致支援に かかわる助成金交付



札幌市の国際化を進めるため、様々な助成事業を行っております。多文化共生社会の実現と市民活動の活性化を図るため、市内で行われた3事業に対し、「多文化共生事業助成金」を交付しました。

MICE関連では、2021年度から2022年度にかけて会議開催形式に大きな変化がみられ、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッドでの開催が増加し、ハイブリッドコンベンション助成金の需要が高まりました。

多文化
共生事業
助成金 3件

札幌市
ハイブリッド
コンベンション
助成金

札幌市
コンベンション
誘致促進
助成金 8件

24件

札幌市
コンベンション
シャトルバス
助成金 6件

札幌市
インセンティブ
誘致促進
サポート事業

5件



プラザサポーターズ 札幌国際プラザ賛助会員企業のご紹介

北海道・札幌のまちをより良くしたい、元気にしたい、そんな法人賛助会員の皆様の地域貢献活動や、地域へそそぐ熱い思いをご紹介します

地域住民のQOL向上と持続可能な社会への貢献を目指して

メディカルシステムネットワークグループは、「良質なインフラを創造し生涯を見守る『まちのあかり』として健やかな暮らしに貢献します」というグループ理念のもと、「地域薬局事業」や「医薬品ネットワーク事業」を基盤とし、地域住民の健康を支えるグループとして、地域との絆を深め、健康意識の啓発や医療技術の発展、スポーツを通じた健康増進、文化・芸術活動などの社会貢献活動を推進しております。

地域の皆様が気軽に参加できる「健康フェア」などの未病啓蒙活動や、ラグビーを始めとする地域クラブへの活動支援などの様々な活動・事業を行っております。また、文化活動の一環として、弊社が運営しているウイステリアホールにおいて、コンサートや朗読劇などのイベント開催や、演奏会場の提供など、地域住民の文化・芸術活動を支援しております。

株式会社 メディカルシステムネットワーク



健康フェア・はるカフェ

活動を支えて下さる賛助会員を募集しています

札幌国際プラザは、みんなにやさしく魅力と活力あふれるまちを目指し、在住外国人支援や異文化理解・国際交流の推進、国際会議や企業旅行など(MICE)の誘致を図ってまいります。さらに充実した活動を続けていくために、賛助会員としての継続的なご支援をお願いいたします。

法人会員:114団体

個人会員:280人(2023年3月31日現在)

年会費:法人1口 20,000円 ※1口以上、
個人1口 3,000円 何口でも結構です。

※当財団へのご寄付は、寄付金控除等の税の優遇措置の対象となります。

ご入会・
お問い合わせは
こちらから



ご入会・
お問い合わせ

ウェブサイト(または右の二次元コード)から、または企画事業部総務企画課までお問い合わせください。
☎011-211-3670 Email:sanjo@plaza-sapporo.or.jp

2023年度のトピック

脱炭素社会に向けた「北海道・札幌宣言」 G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合

2023年5月に広島で開催されたG7主要国首脳会議に関連し、4月15日(土)~16日(日)にG7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合が札幌プリンスホテルで開催されました。本会合では、グリーントランスフォーメーション(GX)のグローバルな推進等について議論され、札幌は北海道とともに、脱炭素社会に向けた「北海道・札幌宣言」を発表しました。環境は、札幌市の重点産業分野のひとつであり、今後も関連する国際会議の誘致・支援を積極的に行ってまいります。



Sapporo

G7 Ministers' Meeting on Climate,
Energy and Environment

編集・発行



公益財団法人札幌国際プラザ

公益財団法人札幌国際プラザは、札幌市の出資団体です。

1987年 6月	任意団体札幌国際交流プラザ運営委員会設立、札幌国際交流プラザ開設
1991年 7月	財団法人札幌国際プラザ設立
2011年 4月	公益財団法人へ移行
2018年 4月	札幌留学生交流センターの指定管理者となる
2019年11月	さっぽろ外国人相談窓口開設(札幌市より受託運営開始)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル 3F TEL:011-211-3670
MN Bldg., Kita1 Nishi3, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 JAPAN FAX:011-211-3673
URL: <https://www.plaza-sapporo.or.jp/> E-mail: sicpf@plaza-sapporo.or.jp



印刷

総合商研株式会社

北海道の森林保全と環境への配慮のため、道産間伐材を原料にした用紙、植物油インキを使用しています。